

令和2年度札幌市北方自然教育園

管理業務計画書及び収支計画書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

令和2年度 事業計画書

[野外活動課（北方自然教育園）]

I 事業方針

札幌市北方自然教育園は、札幌市の野外教育施設として学校教育における自然体験活動機会の提供を第一義と捉え、中でも農業体験を中心とした体験学習を安定的に提供します。

また、生物教材配付の教材飼育計画の策定や飼育方法を見直し、職員の飼育にかかる業務の軽減を図りつつ、生物教材の安定的な確保に努め、定量的な分析・統計資料を作成し、確立した運営のため調査研究を行います。

II 事業内容

- ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業
- イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務
- ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務
- エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務
- オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務
- カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援
- キ. 自然体験や展示に関する相談業務
- ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

III 重点目標

- ①市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供
- ②地域住民との関係性を深めるための事業実施
- ③小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化
- ④生物教材配付の生物飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給
- ⑤SNSを活用した小中学校に対する事前および事後学習の支援
- ⑥学びの農園（Learning Garden）実施に向けての調査研究
- ⑦各部門がもつ強みを生かしあい事業の連携強化を図る。

ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
1	体験農場 (継続)	市立幼稚園、学校の学習指導要領と関連付けながら、農業体験を提供する。 自然環境と作物との関係を考え、仲間と共通体験を行う機会を提供する。 また、水田の体験学習については田植えから脱穀、精米までの一連の流れを理解し、食べ物大切さを考える機会を提供する。 また、先生方からのフィードバックを基に指導員の学習と人材育成につなげていく。 〔対象〕 市内小学1年生から中学校3年生 〔参加人数〕 59校 3,200名	5～12月

イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
2	教材用生物の提供 (継続)	市立幼稚園・学校等に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付することにより昆虫や植物の生態を理解する機会を提供する。 これまでの生物教材飼育方法を見直し、より安定的な教材の提供を目指す。 〔対象〕 市内幼保小中学校 220校程度	配布6月1回

ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
3	生物ふれあい隊 (レベルアップ)	小学校夏季休業期間に生物の飼育体験と生態捕獲体験活動を実施し、生物の生態や周辺環境を理解するとともに生命の尊さや大切さを感じる心を育む。 〔対象〕 小学生を含む家族 〔参加人数〕 1日3組程度	小学校 夏休業期間

エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
4	フルーツファーム (継続)	果樹(ナシ)の摘果や袋掛けなど果樹農家体験事業をとおして北海道の食文化や食育に対する理解と関心を深める機会とする。 〔対象〕 小学生を含む家族 〔参加人数〕 12組程度	6月、10月 全4回

5	北方ファーム (継続)	作物の農業体験事業をとおして、野菜の生育状況の観察や収穫を行ない、北海道の食文化や教育に対する理解と関心を深める機会とする。ステップアップとして、品種の異なる作物の播種・収穫するコースを実施する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕20組程度	5月、7月 8月、9月 全12回
6	トンボの観察会 (継続)	トンボの専門家に生態などの講義観察、採取体験をとおして生き物の生息する自然環境について考える機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度	8月1回
7	自然素材のクリスマスリース作り (継続)	季節や催事に合わせて、白川地域や北方自然教育園内で採取された自然素材を活用し、クリスマスリースを製作する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度	11月1回
8	新年しめ飾りづくり (継続)	自然素材を活用したものづくり体験事業をとおして、創作活動の楽しさや工夫する力を養うとともに、伝統工芸や風習など日本古来からの文化に触れる機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕40組程度	12月4回
9	家族でわくわく貝化石観察会 (継続)	豊平川の河川敷にて貝化石の観察を実施して、家族で豊平川周辺の地層や札幌の地形の成り立ちについて学習し、自然について考える機会を提供する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度	7月1回

オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数
10	情報収集・提供事業 (継続)	札幌市および自然情報誌等へ施設および自然情報の提供を行う。 札幌市等主催による事業への協力を行う。	通年

カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援

No.	事業名	目的・内容 (対象・参加人数等)	時期・回数
11	市民ボランティア事業 (継続)	市民ボランティア(大人対象)の人材育成事業の実施。 園内環境整備や主催事業サポート、展示等活動を通じて市民の自主的な活動を支援し自己実現の機会を提供する。	通年
12	教育機関支援事業 (レベルアップ)	北方自然教育園のフィールドを高等教育機関、社会教育等団体の自然学習・調査研究活動等に活用し積極的な学習支援および指導者養成を行う。 また、みなみの杜支援高等学校の「協育活動」と連携することにより学習支援を行う。	通年・随時

キ. 自然体験や展示に関する相談業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
14	相談業務 (継続)	自然体験や展示に関する各種相談に対応する。 専門的な内容に関しては、道・市・大学等の博物館、科学館等専門機関と連携し対応する。	通年・随時

ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
15	森と池の生き物たち を観察しよう～夏休み親子観察会～ (継続)	森と水辺の生き物を中心とした観察や調査体験をとおして、自然環境に対する理解を深め、夏休みの思い出作りとする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度	8月1回
16	教職員研修事業 (継続)	所管部局と連携し、主に新任小中学校教員を対象に教職員研修を実施する。 体験農園および飼育栽培体験等について研修学習の機会を提供することにより各事業への理解を深める機会を提供する。 〔対象〕市立小中学校教職員 〔参加人数〕30人程度	7月1回
17	ロビー展示 (継続)	学習館内での展示活動を通じて来館者の増加を図るとともに、環境保全および在来種の保護に係る啓発や情報発信に努める。 ハンズオン展示を導入し、深い理解および学習効果を高める。 (参加定員なし)	通年・随時
18	大人の学び舎 (継続)	大人を対象とした自然教室。季節ごとの自然散策や野鳥観察などを、フィールドワークによって学習的要素を取り入れ学びの機会とする。 〔対象〕20歳以上の大人 〔参加人数〕20名程度	5月、2月 2回
19	親子サクランボ採取 とジャム作り体験 (継続)	サクランボの特徴や病害虫を学習し、収穫体験を行う。 また、園内で収穫されたサクランボを活用したジャム作り体験の実施。収穫物の特性と保存方法を提案する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕20組程度	7月 2回

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
20	フルーツ・スイーツ 倶楽部 (継続)	果実等地域の農産物を活用した石窯料理づくりの機会を提供する。 定山溪自然の村および地域学校法人との連携により実施する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕15組程度	9月1回
21	北方スノーシュー 自然観察 (継続)	園内裏山を観察コースとした体験機会の提供を行うことにより、冬に自然に親しむ機会を提供する。 (年齢制限・定員なし)	1～3月随時
22	ロビーで簡単工作 (レベルアップ)	自然素材を用いた簡単工作を提供することにより、手軽な自然素材の工作を提供。 また、団体向けで雨天時などにも活用できる簡単工作会や時期毎にテーマを設定し、創作活動の機会を提案する。 自然素材の収集についてはボランティアと連携して行う。 〔対象〕なし 〔参加人数〕なし	通年・随時
23	団体指導事業 (継続)	野外活動、自然環境理解、工作活動のテーマに沿った内容について、各種団体等から指導依頼を市民活動支援として対応する。	通年
23	社会的課題解決事業 (継続)	自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子供の貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施。 他部門と連携して課題解決を目指す。 子ども部門や若者支援施設等と連携して課題解決を目指す。	通年
24	児童会館誘致事業 (継続)	北方自然教育園の地域との連携事業として、児童会館などと連携しながら、果樹の収穫体験を通して、自然環境や食について考え、野外活動での集団行動と協力関係を増進させる機会を提供する。 【対象】市内児童会館 【参加人数】40名×4館	10月4回
25	自然環境関連フォーラム (継続)	野生動物や樹木といった自然環境の変化と暮らしをテーマとして集会事業を実施し広く自然と人との共生を伝え考える機会を提供する。 【対象】大人 【参加人数】20名程度	9月1回

No.	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数
26	使用承認等に関する 業務 (継続)	施設利用に係る受付および使用承認を行う。 ・貸室（工作室・多目的室）の利用受付 ・野外活動物品の貸出 ・学習館ロビー展示事業に関する受付	通年・随時
27	広報業務 (継続)	リーフレット、ホームページ等により貸室利用および団体指導プログラム等の周知を図る。 SNS 等を活用した広報により自然および施設情報の発信を行う。 広報さっぽろ・「あそぼ」等への情報掲載。	通年・随時
28	調査・研究 (継続)	観光、社会的課題解決、医療など野外活動および野外教育施設の可能性を拡大するための調査を行う。 また、「学びの農園」運営等を中心として将来を見据えた学習機会の創出のための研究を行う。	通年・随時